

# 令和7年度 学校教育アンケート 新居浜市立多喜浜小学校

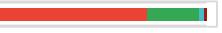
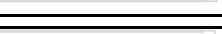
## 【アンケート概要】

実施時期：6月中旬～7月上旬 12月上旬 WEBで実施（地域へは紙媒体）

実施人数（回収率）：6月（児童101人（97%）教員12人（100%）保護者94人（90%）

12月（児童100人（97%）教員12人（100%）保護者84人（81%）地域69人

評価基準：4できている 3だいたいできている 2あまりできていない 1できていない

No.	項目	対象	月	4	3	2	1	グラフ	結果と考察
1	子どもは、学校で楽しく過ごせていると思いますか。	児童	6月	60	35	5	1		・児童・保護者・地域いずれも肯定率は9割を超えており、学校生活を概ね楽しんでいている。
			12月	56	38	4	1		
		教職員	6月	6	5	1	0		→一方で保護者の肯定率は低下しており、児童一人一人の様子を丁寧に把握していく必要がある。
			12月	7	5	0	0		
		保護者	6月	67	23	2	1		→一方で保護者の肯定率は低下しており、児童一人一人の様子を丁寧に把握していく必要がある。
			12月	52	26	3	3		
		地域	12月	30	35	2	0		
		児童	6月	55	41	4	1		・児童の肯定率は高いものの、保護者の肯定率は低下しており、受け止めに差が見られる。
			12月	47	47	3	2		
		教職員	6月	3	6	2	1		
			12月	4	6	1	0		
		保護者	6月	48	36	8	1		→学校での学習の成果や過程を、より分かりやすく発信していく必要がある。
			12月	37	34	10	3		
		地域	12月	27	37	1	0		
3	子どもは、授業内容が分かっていると思いますか。	児童	6月	45	44	11	1		・児童・保護者ともに肯定率は8割台にとどまり、「少しそう思う」が多い傾向が見られた。
			12月	42	45	11	1		
		教職員	6月	0	8	3	1		→授業内容を「分かった」と実感できていない児童が一定数いることが課題。分かる喜びを実感できる授業づくりや、個に応じた支援の充実が求められる。
			12月	0	8	3	0		
		保護者	6月	24	52	16	1		→授業内容を「分かった」と実感できていない児童が一定数いることが課題。分かる喜びを実感できる授業づくりや、個に応じた支援の充実が求められる。
			12月	14	55	9	5		
		地域	12月	12	46	5	0		
		児童	6月	29	50	18	4		・児童・保護者ともに肯定率が低下しており、全項目の中でも課題が大きい。
			12月	29	44	23	3		
		教職員	6月	0	8	3	1		
			12月	2	8	2	0		
		保護者	6月	29	46	16	2		→自分の考え方や気持ちを言葉で表現する力が十分に育っていない。授業や日常生活の中で、安心して意見を伝えられる場面・環境づくりが必要。
			12月	12	47	24	1		
		地域	12月	18	40	7	1		
5	子どもは、コンピューターを使った勉強が分かっていると思いますか。	児童	6月	59	35	6	1		・児童の肯定率は高い一方、保護者ではやや低下が見られた。
			12月	63	31	4	1		
		教職員	6月	1	7	4	0		→ICT活用の目的や学習効果が家庭に伝わりにくい面がある。どのように学びに生かしているのかを、より丁寧に説明していく。
			12月	3	6	2	0		
		保護者	6月	27	58	5	3		→ICT活用の目的や学習効果が家庭に伝わりにくい面がある。どのように学びに生かしているのかを、より丁寧に説明していく。
			12月	26	47	10	0		
		地域	12月	24	33	5	0		

6	子どもは、学校の行事（運動会や海っこ開き）に意欲的に取り組むことができていたと思いますか。	児童	6月	74	23	4	0		・児童・保護者・地域すべて非常に高い肯定率。 →学校行事を通して、達成感や協力する力が育っている。今後も行事の意義を大切にしながら継続する。
		教職員	6月	9	3	0	0		
		保護者	6月	80	11	1	1		
		地域	12月	40	25	1	0		
7	子どもは、地域の人に気持ちのよいあいさつができるいると思いますか。	児童	6月	51	39	9	2		・地域の評価は高いものの、児童・保護者の肯定率は低下傾向。 →挨拶の大切さは理解していても、日常的な実践につながっていない。学校・家庭・地域が連携した継続的な指導が必要。
		教職員	6月	2	4	5	1		
		保護者	6月	40	35	16	0		
		地域	12月	42	23	2	0		
8	子どもは、「早寝・早起き・朝ごはん」ができていますか。	児童	6月	33	30	27	10		・児童・保護者ともに肯定率が低く、生活習慣に関する大きな課題がある。
		教職員	6月	1	3	7	1		→生活リズムの乱れが、学習や体調面に影響を与えている可能性。家庭との連携を強め、生活習慣の改善に取り組む必要がある。
		保護者	6月	31	37	17	8		
		地域	12月	16	39	5	2		
9	子どもは、家庭学習の習慣（読書や宿題など）が身についていると思いますか。	児童	6月	49	38	10	4		・児童・保護者ともに肯定率が低下しており、家庭学習の定着が十分でない。
		教職員	6月	1	6	4	1		→学年や個人差が大きく、学習の仕方が定まっている児童も多い。
		保護者	6月	33	41	13	5		
		地域	12月	20	33	8	0		
10	子どもは、学校のことをよく話していると思いますか。	児童	6月	43	30	21	7		・保護者・地域の肯定率は高いものの、児童の肯定率は7割台。
		教職員	6月	1	10	1	0		→学校生活の出来事を自分から話す力や機会が十分でない可能性がある。日々の振り返りや対話の場を大切にしていくことが課題である。
		保護者	6月	47	30	16	0		
		地域	12月	25	33	4	0		
11	子どもは、自分自身のいいところを知っていると思いますか。	児童	6月	44	26	27	4		・6月から肯定率は上昇しているが、依然として「あまりそう思わない」と回答する児童も多く見られる。
		教職員	6月	2	8	2	0		→自己肯定感の育成は引き続き重要な課題。成功体験を積み重ね、自分の良さに気付ける支援を行っていく必要がある。
		保護者	6月	28	34	29	2		
		地域	12月	18	37	6	0		